

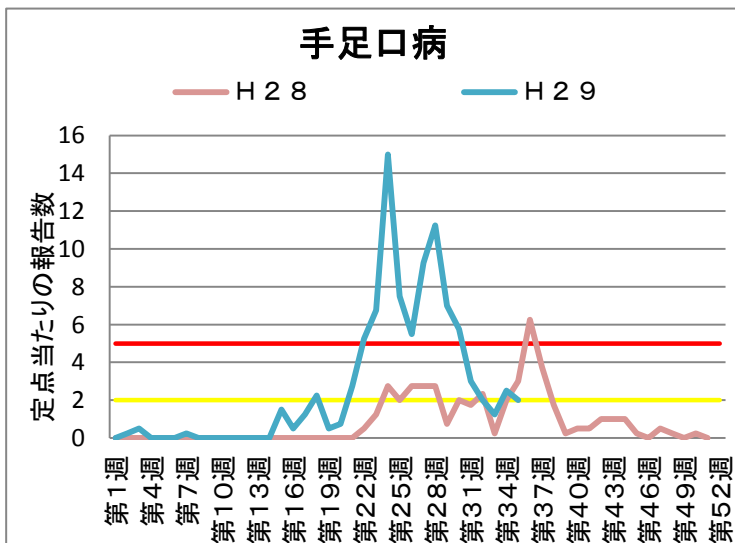
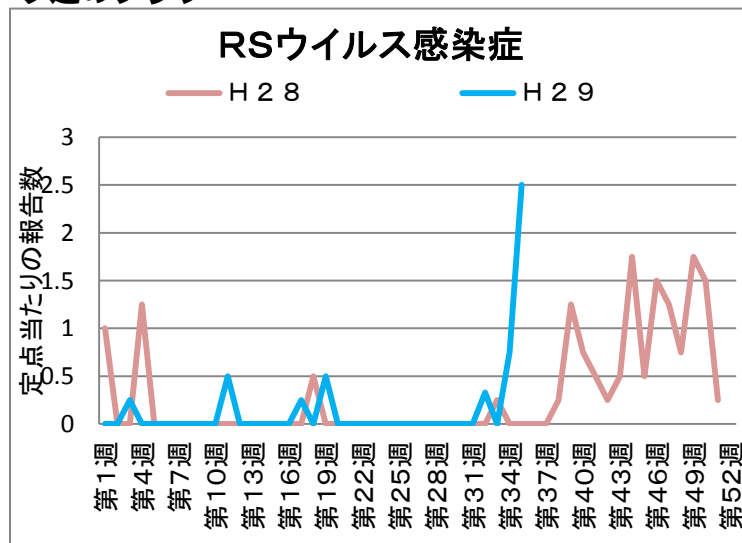
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 35 週 平成29年8月28日 ~ 平成29年9月3日

今週のコメント

○ RSウイルス感染症の報告が定点当たり2.5まで増加し、平成28年、27年のピークを越えています。全国的にも例年より早く流行が始まっており、注意が必要です。年長児や成人はRSウイルスに感染しても感冒様症状のみのことが多いのですが、0歳児と1歳児はRSウイルスに感染すると肺炎などを合併して重症化することがあります。感染経路は、飛沫感染と接触感染です。重症化しやすい0～1歳児を守るために、咳などの呼吸器症状のある年長児や大人はマスクを着用し、0～1歳児との接触を避けましょう。0歳児と1歳児は、発熱や咳症状があれば、かかりつけ医を受診しましょう。

今週のグラフ



* 赤線 — 流行警報基準値です 黄線 — 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	2
RSウイルス感染症	2.5	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	百日咳	-
感染性胃腸炎	3	ヘルパンギーナ	0.25
水痘	-	流行性耳下腺炎	0.5

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

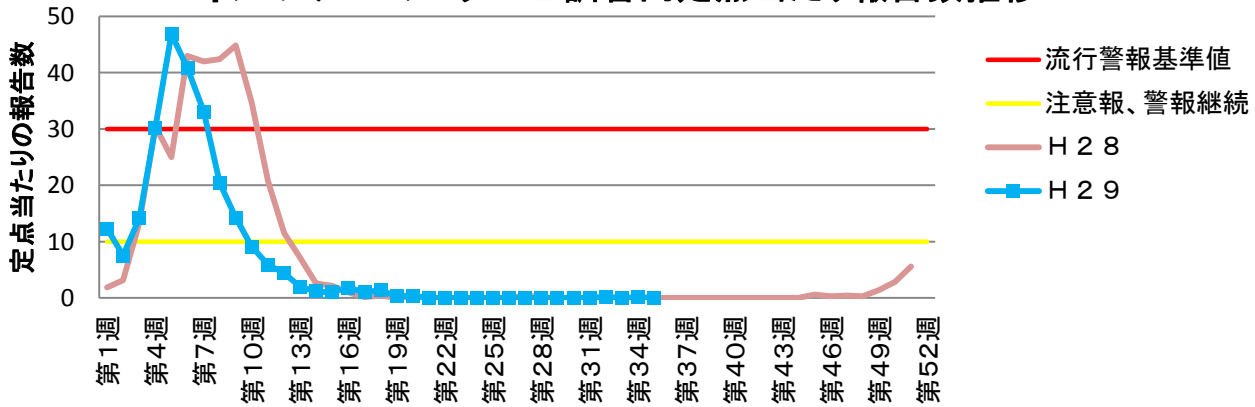
報告週対応表

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

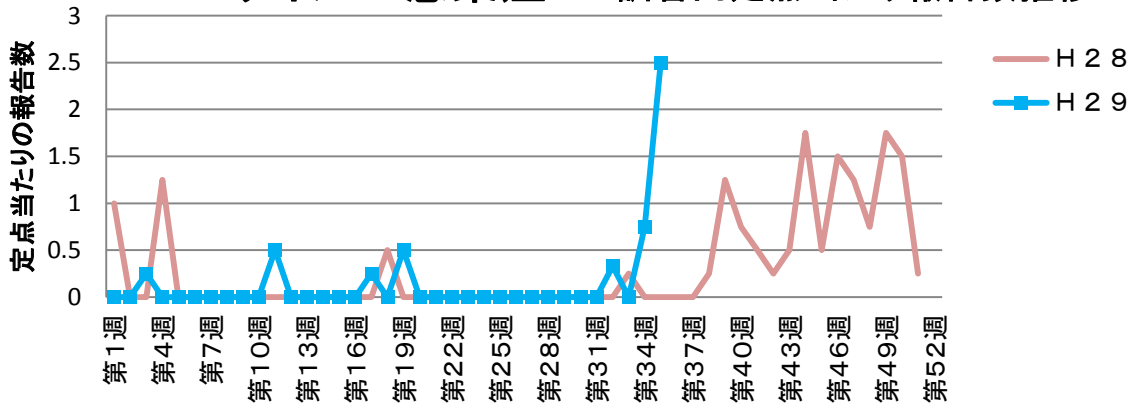
警報・注意報基準値の説明

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

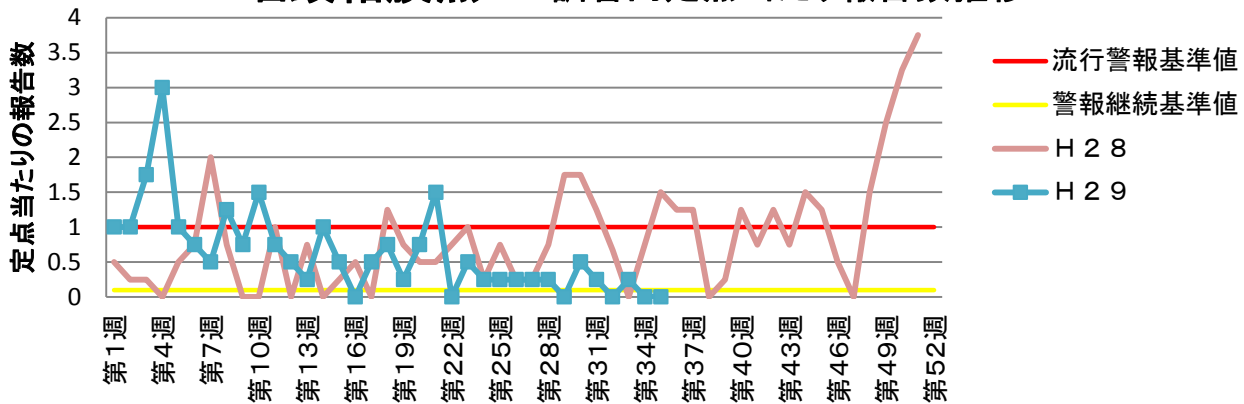
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



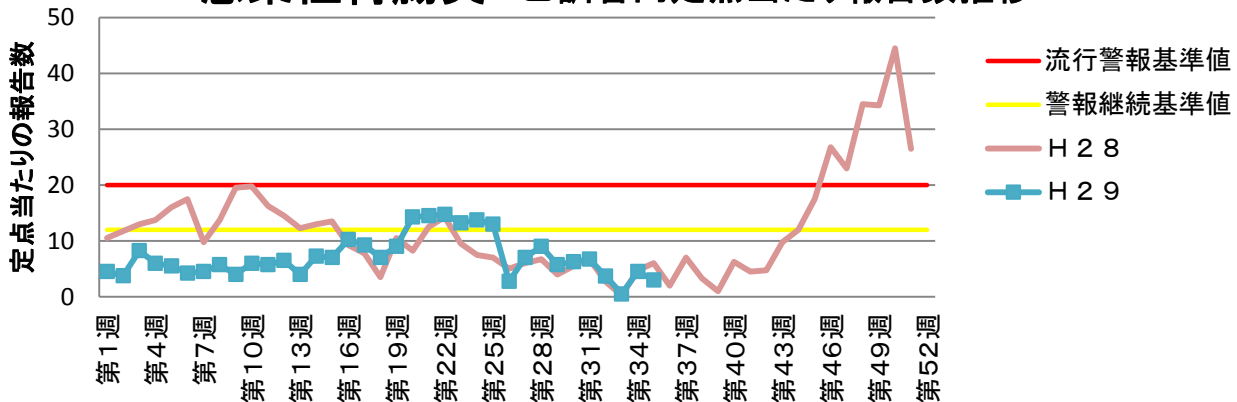
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



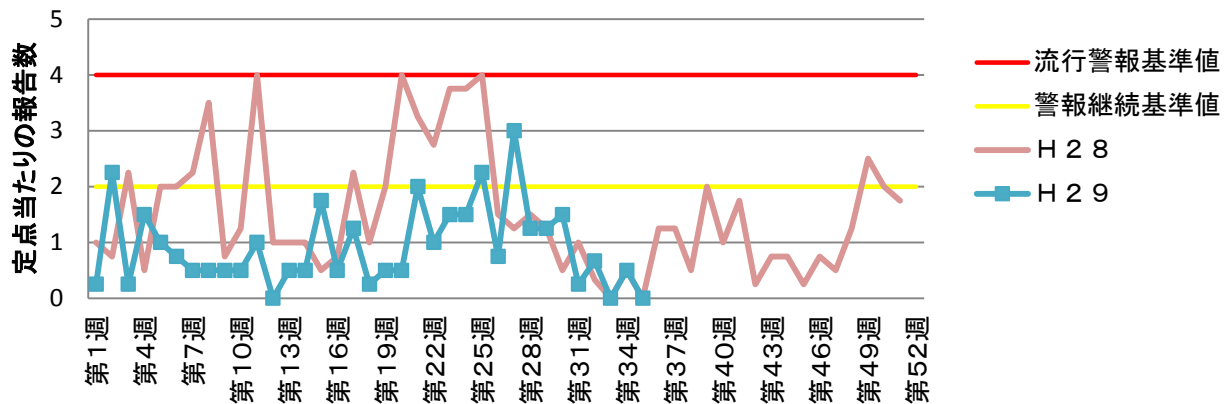
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



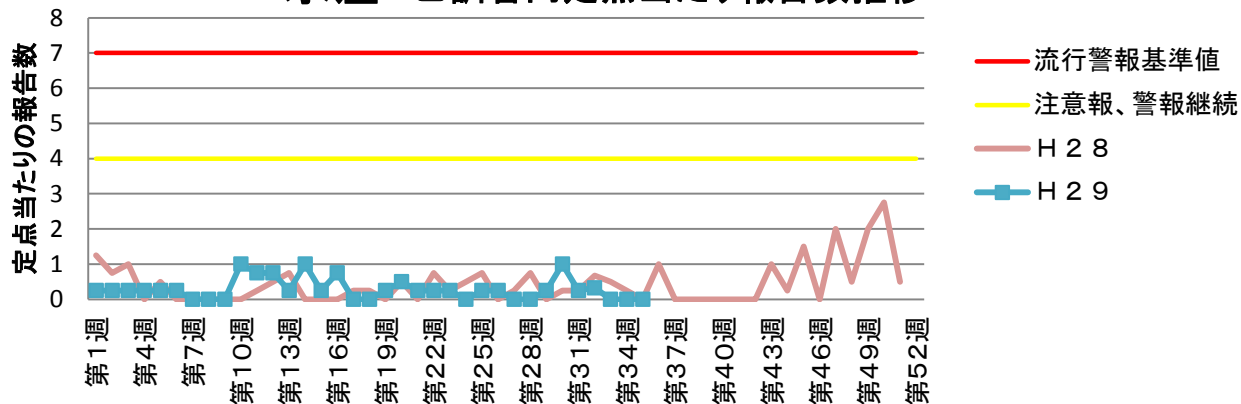
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



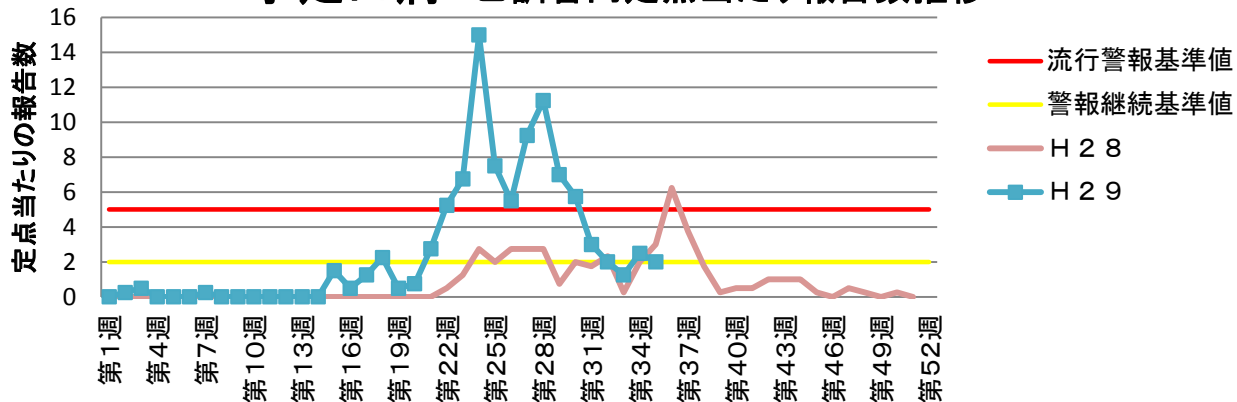
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



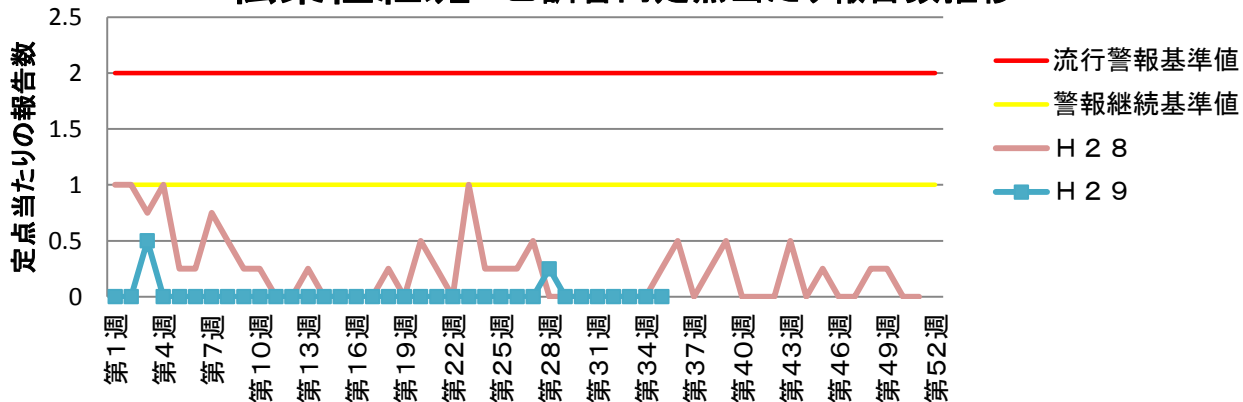
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



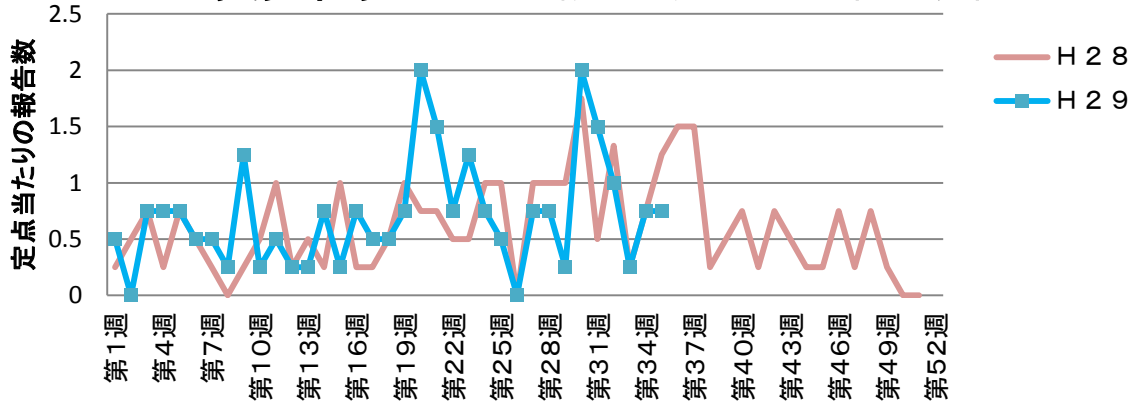
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



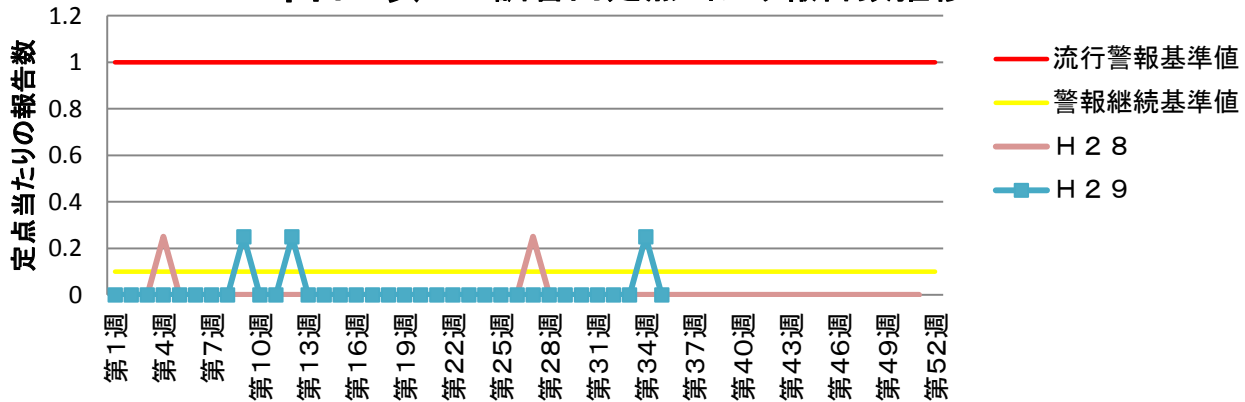
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



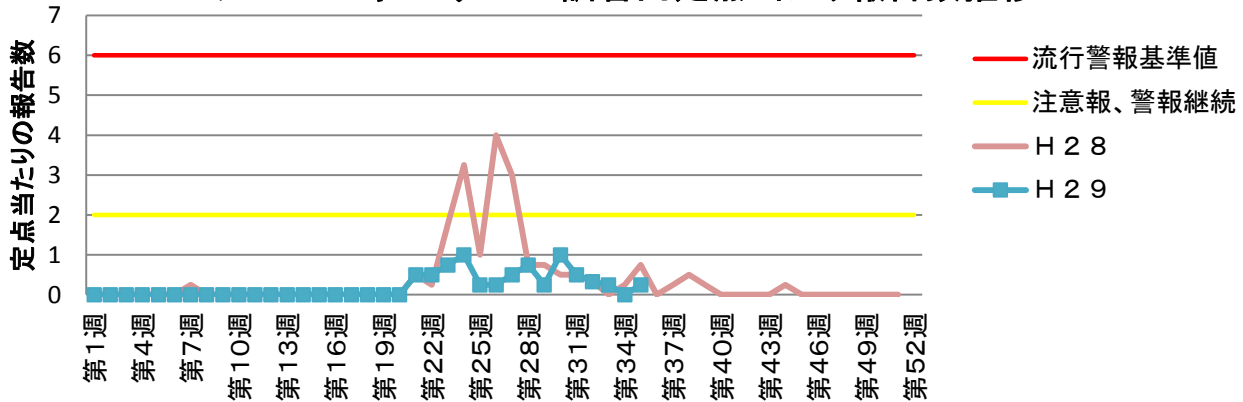
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

